33 01 04 01 02 001

# 事務事業評価表

## 1．基本事項

作成日　令和03年01月26日（火）

| 事務事業 | 予防接種事業 | 担当課 | 保健センター | 担当係 | 健康推進係 | 管理番号 | 3346 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第2次総合計画 | | 事業区分 | ■ 自治事務 | □ 法定受託事務 → | 対象拡大 有□<br>サービス拡充 有□ | | |
| 行政計画 施策分野別名 大項目 | 200001 健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉） | 根拠法令個別計画等 | 予防接種法<br>深谷市行政措置予防接種実施要綱 | | | | |
| 中項目 | 200002 健やかで元気に暮らせるまちづくり | | | | | | |
| 小項目 | 200001 健康づくりの推進 | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 事業概要 | 本事業は予防接種法のＡ類疾病（ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、麻疹、風疹、水痘、日本脳炎、結核、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん、Ｂ型肝炎）・Ｂ類疾病（高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌）及び深谷市行政措置予防接種実施要綱に定めた年齢の市民を対象に、接種機会の安定的確保、高い接種率の維持を目指すものである。 |
| 目的<br>※何のために | Ａ類疾病の発生及び蔓延予防、Ｂ類疾病の個人の発病また重症化防止のため。 |
| 対象<br>※誰・何を対象に | ・予防接種法または深谷市行政措置予防接種実施要綱に定められた年齢の市民 |
| 手段<br>※どのように | ・委託医療機関での個別接種 |
| 成果<br>※何を求めるか | Ａ類疾病については予防接種の接種機会を安定的に確保することにより、高い接種率を確保することができる。Ｂ類疾病については予防接種の機会を安定的に提供できる。 |
| 執行体制 | ■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　） |

事務事業を構成する予算事業

| 会計区分 | 款 | | 項 | | 目 | | 細事業名 | 前年度決算額（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | 04 | 衛生費 | 01 | 保健衛生費 | 02 | 予防接種費 | 予防接種事業 | 359,394,326 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |

本事業の主な業務

| | |
|---|---|
| ・ 個別予防接種（Ａ類疾病） | ・ |
| ・ 個別予防接種（Ｂ類疾病） | ・ |
| ・ 行政措置予防接種（高齢者肺炎球菌）：市単独 | ・ |
| ・ 予防接種補助金交付（委託契約医療機関外での接種） | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

## 2．事業費（投入コスト）

単位：円

| 区分 | | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度別計画 | | | | | ・高齢者肺炎球菌及び行政措置高齢者肺炎球菌予防接種制度の継続<br>・第５期風疹予防接種の導入 | ・ロタワクチンの定期接種導入 | | |
| 事業費 | 予算（現額） | | 378,153,000 | 373,157,000 | 424,173,000 | 424,811,000 | 402,229,000 | |
| | 決算額 | | 367,111,736 | 361,507,692 | 359,394,326 | 0 | 0 | |
| | 財源内訳 | 国支出金 | 0 | 0 | 10,679,000 | 12,826,000 | 9,046,000 | |
| | | 県支出金 | 0 | 0 | 11,000 | 0 | 0 | |
| | | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 他特定財源 | 0 | 0 | 730 | 0 | 0 | |
| | | 一般財源 | 367,111,736 | 361,507,692 | 348,703,596 | 411,985,000 | 393,183,000 | |
| 人件費 | 従事職員数（人） | | 1.58 | 1.38 | 1.38 | 1.68 | 1.68 | |
| | 人件費相当試算※１ | | 12,290,820 | 10,739,160 | 11,184,900 | 13,688,640 | 13,688,640 | |
| | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| （総事業費試算） | | | 379,402,556 | 372,246,852 | 370,579,226 | 438,499,640 | 415,917,640 | |

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

# 事務事業評価表

## ３．評価指標

| グラフ表示 | 区分 | 指標名 | | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標なし |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ■ | 活動指標１ | 接種勧奨回数 | 目標値 | 回 | 10.00 | 20.00 | 20.00 | 21.00 | 21.00 | 22.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 19.00 | 20.00 | 21.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 接種状況を見ながら啓発を図る。 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| ■ | 成果指標１ | 麻しん風しん（第１期）接種率 | 目標値 | % | 95.00 | 95.00 | 95.00 | 95.00 | 95.00 | 95.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 98.80 | 99.70 | 94.30 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 国の麻しん排除計画における接種率を目標値として設定 | | | | | | | |
| | | 接種率 | | | | | | | | | |
| □ | 成果指標２ | 高齢者インフルエンザ接種率 | 目標値 | % | 0.00 | 60.00 | 60.00 | 60.00 | 60.00 | 60.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 55.30 | 54.00 | 57.80 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 過去の実績から目標値を設定 | | | | | | | |
| | | 接種率 | | | | | | | | | |
| ■ | 成果指標３ | １歳～就学前までの麻しん罹患率 | 目標値 | % | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 国の麻しん排除計画における目標値と同様 | | | | | | | |
| | | 罹患率（保健所：感染症発症動向 | | | | | | | | | |
| □ | 成果指標４ | １歳～就学前までの風しん罹患率 | 目標値 | % | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 国の麻しん排除計画における目標値に連動して設定 | | | | | | | |
| | | 罹患率（保健所：感染症発症動向 | | | | | | | | | |
| □ | | | 目標値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

## ４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

| | | |
|---|---|---|
| 活動<br>（意図した活動を行っているか） | A | 目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明<br>生後１か月頃及び対象年齢での定期予防接種予診票と説明書の個別通知、新生児訪問や乳幼児健診での指導や学校保健と連携した接種勧奨を実施。高齢者肺炎球菌は新規対象者である６５歳のかたへの個別通知による予診票の発送、第５期風疹の周知に商工会議所等にチラシ配付等の協力を得ることができた。 |
| 成果<br>（意図した成果が上がっているか） | A | 目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明<br>新型コロナ感染症の感染拡大の影響を受け、全体的に接種率が下がった状況にあるが、国の目標どおり幼児の麻しん罹患率は０であった。また、風疹の流行を抑える為に、新たに大人の風疹事業が国の追加的対策となったが、本市においては幼児の風疹罹患率０が維持できている。 |
| 効率性<br>（効率的に事務を行っているか） | - | 目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 |

| 評価者 | 健康推進係長　鳥羽久美子 |
|---|---|

## ５．前年度改善改革プラン達成状況

| | |
|---|---|
| 前年度<br>改善・改革案 | ・Ａ類疾病の周知啓発について、個別通知や母子保健事業及び学校保健との連携を継続し、特に二種混合を強化する。<br>・高齢者肺炎球菌予防接種についてはＢ類疾病であるが、接種率が低いことから国により経過措置が５年間継続が決定されたことから、周知啓発方法について検討する。<br>・風疹追加的対策が円滑に実施できるよう対応を進める。<br>・制度変更等についての国の動向に注視し、円滑な導入が図れるように努める。 |
| 達成状況<br>及び<br>その効果 | 適切な年齢で接種ができるよう、様々な方法で接種勧奨と周知を行った。課題である二種混合の接種率は０．６ポイント増加したが、接種勧奨の継続が必要である。高齢者肺炎球菌は新規対象者となる６５歳のかたに予診票を個別通知したが、新型コロナ感染症感染拡大により受診を差し控えた状況等があり接種率が低迷する結果となった。また、風疹の追加的対策は、５月にクーポン券を発送し円滑に導入することができたが、対象が就労世代のこともあり、引き続き、啓発、勧奨が必要である。ロタの定期接種化の確定により医師会と調整を開始した。 |

# 事務事業評価表

## ６．所属長評価（今後の方向性）

| 事務事業 | 予防接種事業 | 担当課 | 保健センター | 担当係 | 健康推進係 | 管理番号 | 3346 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

**評価の内容説明**

本年度は新型コロナ感染症の影響を受け、特に高齢者肺炎球菌予防接種の接種率が低下したが、対象年齢で接種ができるよう引き続き、啓発・接種勧奨を行っていく。風疹の追加的対策は抗体検査率が２０%に留まっており、勧奨方法を検討して実施していく必要がある。また、ロタワクチンの定期接種導入時期が令和２年１０月に決定したことから、円滑な導入に向けて準備を進めていく。

| 評価者 | 保健センター所長　野口加代子 |
|---|---|

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

## ７．改善改革プランと今後の課題

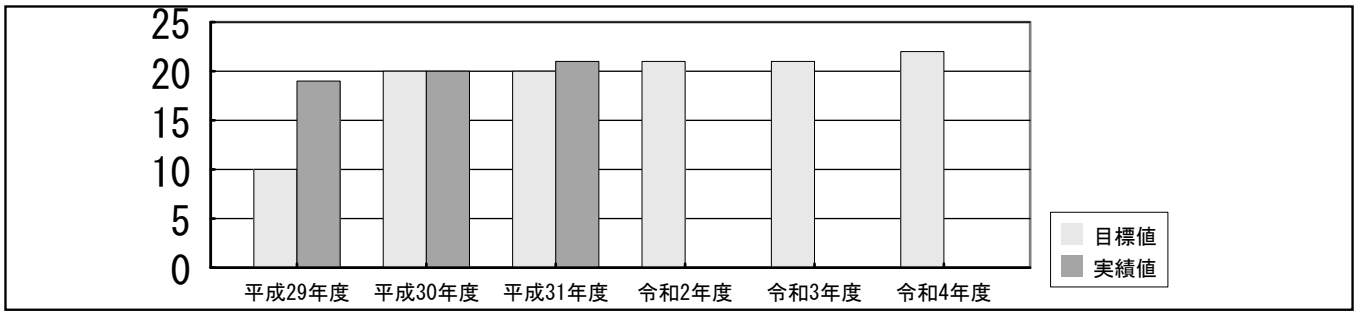
| | |
|---|---|
| 改善・改革案 | ・新型コロナ感染症の影響が大きい状況であるが、予防接種の重要性の啓発、接種勧奨の強化により接種率を向上させる。<br>・新たに定期接種化されるロタワクチンの円滑な導入。<br>・風疹の追加的対策は令和３年度までの時限的措置であることから、対象者のうち特に妊婦の夫であるかたへの勧奨を強化するなど、勧奨方法を検討していく。 |

## ８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

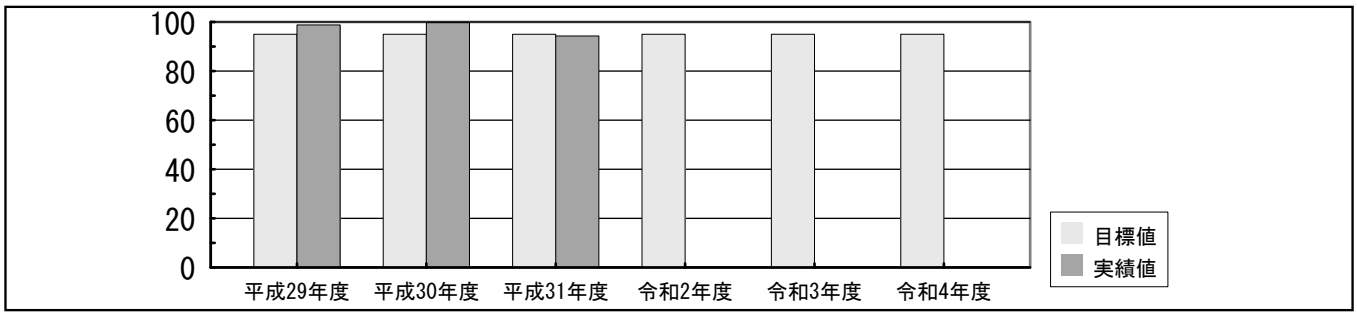
| | |
|---|---|
| 今後の課題 | ・ロタワクチンの定期接種導入 |

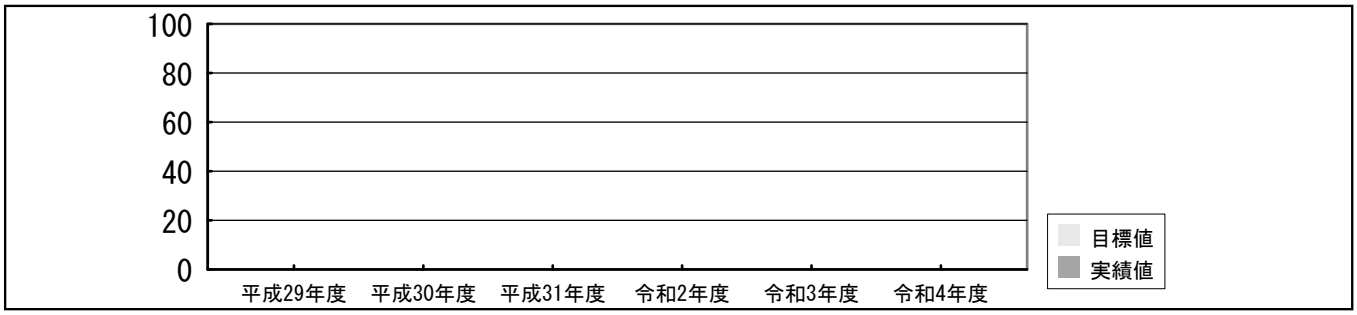
## ９．評価指標グラフ

| 区分 | 活動指標１ | 指標名 | 接種勧奨回数 |
|---|---|---|---|




| 区分 | 成果指標１ | 指標名 | 麻しん風しん（第１期）接種率 |
|---|---|---|---|




| 区分 | 成果指標３ | 指標名 | １歳～就学前までの麻しん罹患率 |
|---|---|---|---|